

株式会社レスター

2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算補足説明資料

2025年11月13日

<将来の見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動並びに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

<お問い合わせ先>
レスター 広報・IR室
E-mail: irpr@restargp.com

Agenda

- 1 レスターグループ概要 P4
- 2 2026年3月期第2四半期 連結業績ハイライト P7
- 3 2026年3月期 連結業績予想及び配当予想
 - ▶ 2026年3月期 連結業績予想及び上期進捗状況 P16
 - ▶ 2026年3月期 セグメント別の今後の取り組み P19
 - ▶ 2026年3月期 株主還元方針及び配当予想 P24

Agenda

- 1 レスターグループ概要** P4
- 2 2026年3月期第2四半期 連結業績ハイライト** P7
- 3 2026年3月期 連結業績予想及び配当予想**
 - ▶ 2026年3月期 連結業績予想及び上期進捗状況 P16
 - ▶ 2026年3月期 セグメント別の今後の取り組み P19
 - ▶ 2026年3月期 株主還元方針及び配当予想 P24

レスターグループ 経営理念

Mission ミッション

情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、
社会の発展に貢献します

Vision ビジョン

あらゆるニーズに対応できる
「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」を目指します

世界・社会貢献・共創と革新

Values バリュー

多様な考えを受け入れ、共創を通じて、新しい文化や価値を創り出します

常に高い目標を掲げて、革新的な発想と情熱で、挑戦し続けます

活躍の場を世界へと広げ、持続可能な社会の発展に貢献します

レスターグループ事業概要

会社概要



会社名 株式会社レスター（英文名: Restar Corporation）

本社所在地 東京都港区港南二丁目10番9号 レスタービルディング

代表取締役
会長CEO 今野 邦廣
社長COO 林 真一

資本金 43.8億円

従業員数 4,483人(2025年3月末時点)

設立 2009年10月

上場取引所 東京証券取引所 プライム市場

証券コード 3156

事業紹介



*BU:ビジネスユニット

Agenda

- 1 レスターグループ概要 P4
- 2 2026年3月期第2四半期 連結業績ハイライト P7
- 3 2026年3月期 連結業績予想及び配当予想
 - ▶ 2026年3月期 連結業績予想及び上期進捗状況 P16
 - ▶ 2026年3月期 セグメント別の今後の取り組み P19
 - ▶ 2026年3月期 株主還元方針及び配当予想 P24

売上高
278,087 百万円

前年同期比 1.8%増

計画進捗率 46.3%

営業利益
4,910 百万円

前年同期比 28.1%減

▶ 営業利益率 1.8%

計画進捗率 30.6%

親会社株主に帰属する中間純利益

1,676 百万円

前年同期比 61.8%減

▶ 中間純利益率 0.6%

計画進捗率 22.3%

実績概要

売上高

- M&Aや合併会社設立による**連結子会社化**に伴う増収(↑↑)
- **高機能カメラ**や**PC関連機器**を中心とした**民生向け**は好調(↑)
- **車載向け**低調(↓)
- **産業機器向け**の**回復遅れ**(↓)

営業利益

- デバイス事業における第1四半期連結累計期間での**為替変動の影響**による**売上総利益の悪化**や、当中間連結会計期間での**販売ミックスの変化**に伴う**売上総利益率の低下**(↓)
- エコソリューション事業における新電力の**需給調整市場の競争激化**(↓)

中間純利益

- 営業利益の減益に伴う減益(↓)
- 前年同期における連結子会社の清算に伴う税効果の剥落(↓)

下期の主な取り組み

デバイスBU：特に産業機器・車載市場での拡販活動
システムBU：放送やオフィス移転関連案件の着実な取り込み
IT&SIerBU：当社顧客基盤を活用した、ビジネス領域の拡大

デバイスBU：販売ミックスの改善による収益改善
システムBU：需給調整市場の剥落分のリカバリー策の実行
IT&SIerBU：収益力の高いプロジェクトの完遂

19ページ以降にて詳細説明

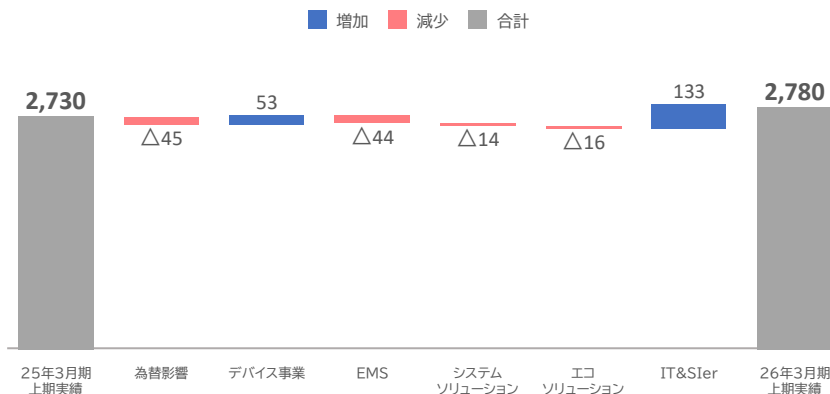
2026年3月期第2四半期累計連結業績

(単位:百万円)	2025年3月期 第2四半期		2026年3月期 第2四半期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	273,042	—	278,087	—	5,045	1.8%
売上総利益	22,425	8.2%	23,092	8.3%	667	3.0%
販売管理費	15,598	5.7%	18,181	6.5%	2,583	16.6%
営業利益	6,826	2.5%	4,910	1.8%	△1,915	△28.1%
経常利益	4,621	1.7%	3,107	1.1%	△1,514	△32.8%
親会社株主に帰属する 中間純利益	4,391	1.6%	1,676	0.6%	△2,714	△61.8%

増減要因

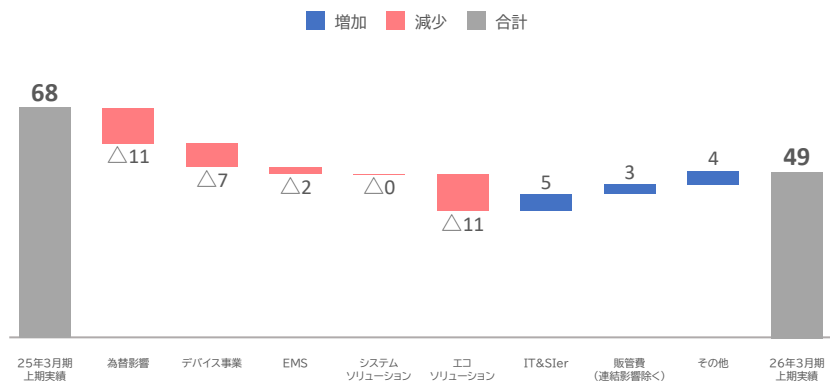
売上高

(単位:億円)



営業利益

(単位:億円)



TOPICS(売上高)

デバイス事業： 合併会社設立による連結子会社化に伴う増収(↑↑)

デバイス事業： 車載向けにおけるEV需要の鈍化や搭載モデルの生産終息に向けての影響や、産業機器向けの回復遅れによる影響(↓↓)

EMS事業： 前年同期におけるスマートフォン新機種への搭載効果の剥落により減収(↓)

IT&SIerBU： 連結効果による増収(↑)

TOPICS(営業利益)

IT&SIer／デバイス事業： M&Aや合併会社設立による連結子会社化の増収効果(↑)

デバイス事業： 第1四半期連結累計期間での為替変動の影響による売上総利益の悪化や、当中間連結会計期間での販売ミックスの変化に伴う売上総利益率の低下(↓)

エコソリューション事業： 新電力分野における需給調整市場での競争激化(↓)

為替レート

25年3月期2Q:152.6円/\$

26年3月期2Q:146.0円/\$

(単位:百万円)

売上高

セグメント利益

EMS

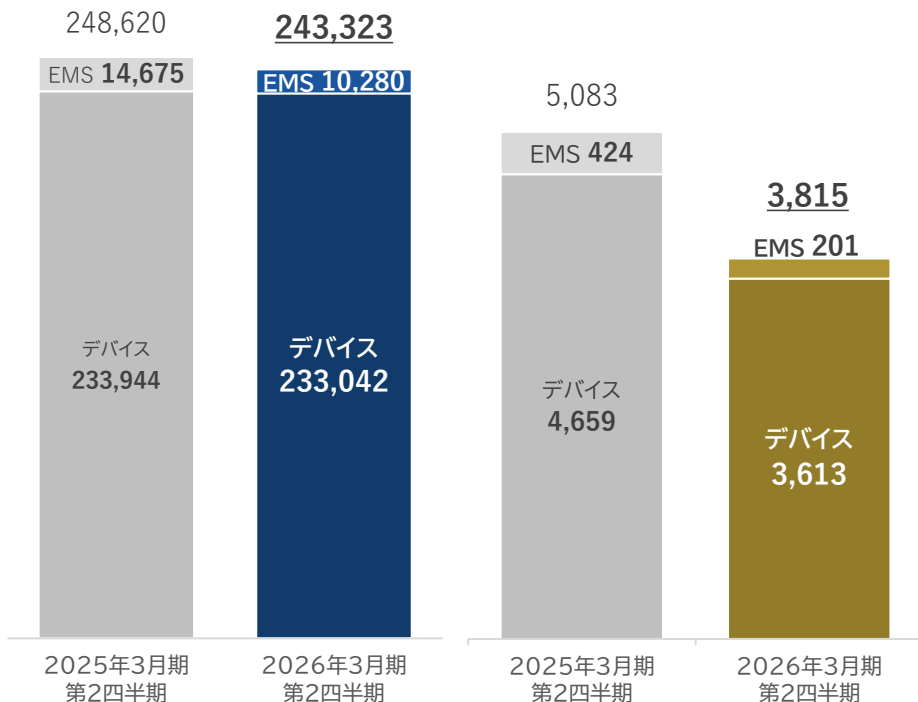
前年同期におけるスマートフォン新機種への搭載効果が剥落したことにより減収

デバイス

連結子会社化(2024年7月Restar Dexerials Hong Kong Limited、2025年1月Restar Dexerials Korea Corporation、2025年2月Restar Dexerials Taiwan Corporation)に伴う増収、高機能カメラやPC関連機器を中心とした民生向けは好調に推移したものの、車載向けにおいてはEV需要の鈍化や搭載モデルの生産終息に向けての影響に加え、産業機器向けにおける長引く在庫調整の影響もあり、売上高は前年同期並み

セグメント利益

第1四半期連結累計期間での為替変動の影響による売上総利益の悪化、当中間連結会計期間での販売ミックスの変化に伴う売上総利益率の低下やEMS事業の減収により減益



システムビジネスユニット

(単位:百万円)

売上高

セグメント利益

エコソリューション

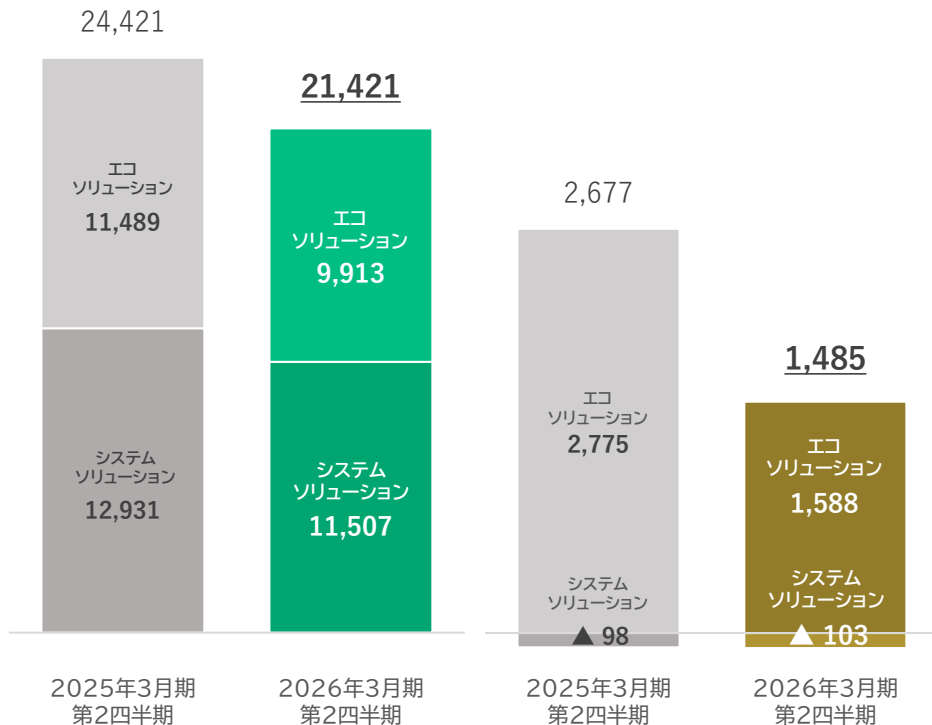
太陽光発電所の新規稼働に加え、リパワリングなどのメンテナンス強化による増収効果があったものの、新電力分野における需給調整市場での競争激化により減収

システムソリューション

公共関連分野においては新規入札案件の獲得などにより堅調に推移したものの、決済端末などのシステム機器における販売が低調に推移したことにより減収

セグメント利益

主にエコソリューション事業における減収により減益



- 2024年9月27日に中期経営計画の柱である4BU体制の新BU「IT & SIerBU」の基盤を担うPCIグループを連結子会社
- PCIグループの強みであるソフトウェア開発やソリューション開発・保守等の情報サービス事業を軸に、両社の強みを生かした技術リソースの強化並びに企画提案等の上流プロセスへの展開を加速させ、更なる市場の深耕・拡大を図る

売上高

13,343百万円

セグメント利益

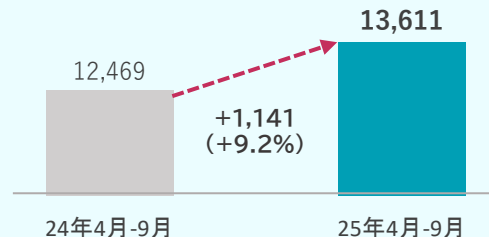
530百万円

IT & SIer

PCIグループの技術力を活用し、当社グループの顧客基盤を活かした案件獲得に向けた提案活動を推進する中、精密機器メーカーや産業機器メーカーなどの製造業における新規領域での案件も獲得

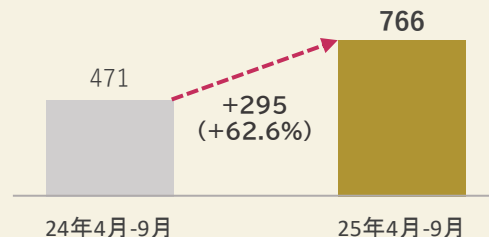
(単位:百万円)

売上高



(単位:百万円)

営業利益



※ グラフの数値は連結子会社であるPCIホールディングス株式会社(東証スタンダード市場:3918)より本日開示されました「2026年3月期第2四半期決算説明資料」より抜粋しております

連結貸借対照表

2025年3月末

2025年9月末

(単位:百万円)

売掛金 113,713	短期借入金 52,539
商品及び製品 53,647	支払手形及び買掛金 71,724
現金及び預金 44,417	その他流動負債 20,887
その他流動資産 28,791	固定負債 64,810
固定資産 69,407	純資産 100,061
繰延資産 46	

資産の部

310,022

負債・純資産の部

310,022

売掛金 116,125	短期借入金 48,483
商品及び製品 59,121	支払手形及び買掛金 81,912
現金及び預金 44,282	その他流動負債 19,914
その他流動資産 26,215	固定負債 63,303
固定資産 69,136	純資産 101,304
繰延資産 38	

資産の部

314,918

負債・純資産の部

314,918

主な増減要因

(単位:百万円)

資産の部	
流動資産	商品及び製品 +5,473、 その他流動資産 +2,936、 売掛金 +2,411、電子記録債権 △6,599
固定資産	—
負債・純資産の部	
流動負債	支払手形及び買掛金 +10,187、 短期借入金 △4,055
固定負債	長期借入金 △1,389
純資産	為替換算調整勘定 +613、 非支配株主持分 +428、 その他有価証券評価差額金 +265

自己資本比率*1

25年3月末
27.7%(29.3%)

25年9月末
27.5%(29.1%)

ネットD/Eレシオ*2

25年3月末
0.6倍

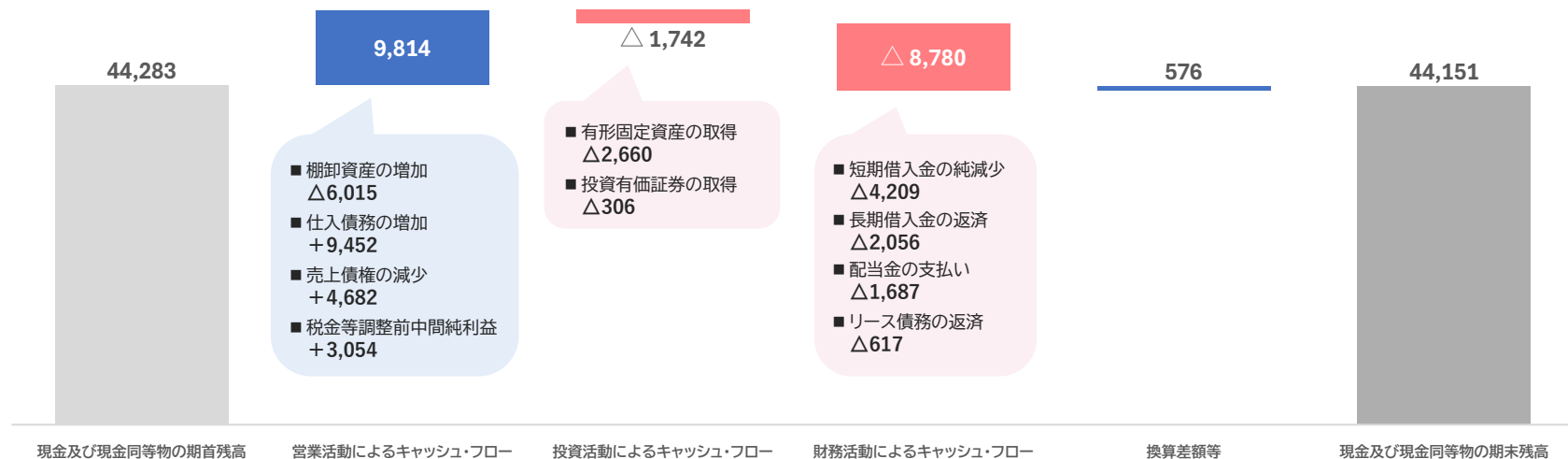
25年9月末
0.6倍(小幅改善)

*1()内の数字は、ハイブリッドローン(劣後特約付きローン)を加味した格付上の数値(2024年8月に調達したハイブリッドローン(劣後特約付きローン)100億円については格付上の資本性50%を考慮して計算)

*2ネットD/Eレシオ=(リース債務を除く有利子負債-現金及び預金)÷自己資本 → 安定的に1.2倍を下回る水準を維持

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	39,771	44,283	4,512
■ 営業活動によるキャッシュ・フロー	20,352	9,814	△10,538
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,925	△1,742	183
■ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,275	△8,780	5,494
■ 換算差額等	286	576	290
現金及び現金同等物の期末残高	44,210	44,151	△58



Agenda

- 1 レスターグループ概要 P4
- 2 2026年3月期第2四半期 連結業績ハイライト P7
- 3 2026年3月期 連結業績予想及び配当予想
 - ▶ 2026年3月期 連結業績予想及び上期進捗状況 P16
 - ▶ 2026年3月期 セグメント別の今後の取り組み P19
 - ▶ 2026年3月期 株主還元方針及び配当予想 P24

	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期見通し ^{*1,2}	2026年3月期 第2四半期実績	進捗率
(単位:百万円)	金額		金額	
売上高	561,001	600,000	278,087	46.3%
営業利益	14,174	16,000	4,910	30.6%
経常利益	9,559	12,500	3,107	24.8%
親会社株主に帰属する 純利益	7,473	7,500	1,676	22.3%

^{*1} 2025年5月14日に発表した通期業績見通しからは変更ございません。

^{*2} 現時点においては、米国の各国への関税措置による当社業績への直接的な影響は軽微であると認識しております。
今後、開示すべき重大な影響が見込まれる場合には速やかに公表いたします。

ビジネスユニット別見通し

(単位:百万円)

		2026年3月期 通期見通し	2026年3月期 第2四半期実績	
		金額	金額	進捗率
売上高	デバイスBU	530,200	243,323	45.8%
	デバイス	504,700	233,042	46.1%
	EMS	25,500	10,280	40.3%
	システムBU	42,000	21,421	51.0%
	システムソリューション	24,000	11,507	47.9%
	エコソリューション	18,000	9,913	55.0%
	IT&SIerBU	27,800	13,343	47.9%
	連結	600,000	278,087	46.3%
セグメント利益	デバイスBU	12,450	3,815	30.6%
	デバイス	12,000	3,613	30.1%
	EMS	450	201	44.8%
	システムBU	3,350	1,485	44.3%
	システムソリューション	650	△103	—
	エコソリューション	2,700	1,588	58.8%
	IT&SIerBU	1,950	530	27.2%
	全社・調整	△1,750	△920	—
連結		16,000	4,910	30.6%

Agenda

- 1 レスターグループ概要 P4
- 2 2026年3月期第2四半期 連結業績ハイライト P7
- 3 2026年3月期 連結業績予想及び配当予想**
 - ▶ 2026年3月期 連結業績予想及び上期進捗状況 P16
 - ▶ 2026年3月期 セグメント別の今後の取り組み** **P19**
 - ▶ 2026年3月期 株主還元方針及び配当予想 P24

デバイスBUにおける今後の取り組み

売上高

▨ : 主な取り組み
(単位: 億円)

2,433

400

上期実績

下期見通し

セグメント利益

38

45

上期実績

下期見通し

下期の主な取り組み

1

産業機器(全体)

顧客の在庫調整も徐々に進んでおり、下期以降の市場の回復を見込む

2

産業機器(医療向け)

内視鏡向けイメージセンサーの拡販及び新規ビジネスの立ち上げ

3

産業機器(新規)

高付加価値の新規ビジネスの立ち上げ及び欧米での受注拡大

4

車載新規商材/商流

車載関連新規ビジネスの立ち上げ

5

民生機器向け拡販

堅調な高機能カメラに加えてPC関連機器需要の取り込み

6

メモリ需要取り込み

データセンター向けメモリの需要拡大に伴う需要取り込み

下期の主な取り組みなどによる想定効果(上期比)

売上高 ▶ **400** 億円、粗利 ▶ **45** 億円

アプリ別動向

産業機器

- ① 産業機器市場の全体的な回復は未だ緩やかではあるものの、顧客においては在庫調整局面が解消されつつあり、下期以降の需要回復を見込む
- ② データセンター向けメモリの需要拡大に伴い、需給ひっ迫状況での引き合い増加もあり特需の取り込み
- ③ 医療向けなどの産業機器関連新規ビジネスの立ち上げにより、収益貢献を見込む

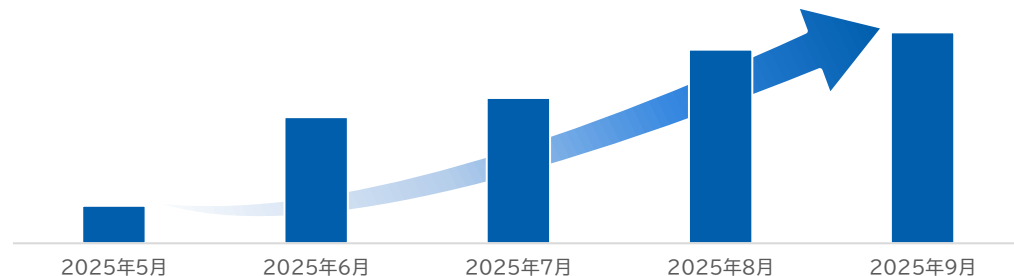
車載機器

- ・ 国内外における新車販売動向などは不透明感があるものの、当社強み商材を活用した新規ビジネスの立ち上げやクロスセルの強化などにより拡販を図る

民生機器

- ① カメラメーカーの生産動向は対前年で増産計画ではあるが、伸び率は鈍化しているため当社としては下期を慎重に見つつも、受注状況は堅調に推移
- ② PC関連機器はWindows11への切り替え関連需要の一定の落ち着きはあるものの、引き合いは未だ堅調
- ③ PCにおいては特定顧客における拡販策が好調に推移

【参考】産業機器受注金額推移（一部顧客）



- ・ 顧客によって強弱感はあるものの、全体の受注金額は増加傾向
- ・ 在庫調整も進んでおり、下期以降の需要取り込みを見込む

システムBUにおける今後の取り組み

売上高

■: 主な取り組み
(単位: 億円)

214

10

上期実績

下期見通し

■エコソリューション

■システムソリューション

セグメント利益

14

4

上期実績

下期見通し

■エコソリューション

■システムソリューション

下期の主な取り組み

1

受注案件シフト

上期検収予定であった放送やオフィス移転関連案件の下期シフト

2

オフィス移転案件の
取り込み

オフィス移転需要の高まりに伴う移転関連新規案件の取り込み

3

公共関連分野の
入札案件新規獲得

上期に引き続き、公共関連分野における入札案件の獲得

4

スタッフサイネージ
新規案件獲得

省人化ニーズに伴う小売現場などでの導入事例増加によるユーザーの着実な獲得

5

太陽光発電所の
拡大／メンテナンス強化

上期の太陽光発電所の新規稼働による収益貢献及びリパワリングなどのメンテナンス強化による稼働率上昇

6

系統用蓄電池の稼働

新規取り組みである系統用蓄電池が12月より稼働予定

下期の主な取り組みなどによる想定効果(上期比)

売上高 ▶ **10** 億円、粗利 ▶ **4** 億円

IT & SIerBUにおける今後の取り組み

売上高

▨ : 主な取り組み
(単位: 億円)

133

上期実績

11

下期見通し

セグメント利益

5

上期実績

9

下期見通し

下期の主な取り組み

1

技術者の育成

プロジェクトの核となる人財の育成

2

受注強化

高付加価値案件の受注増を図る

3

LSIターンキーの
拡販強化

グループ共創により拡販を強化

4

新製品開発／販売

組込みPCは、営業体制の強化と販路拡大を図る

5

独自ソリューション強化

独自ソリューションの機能拡張を行い、競争力を強化

6

AIソリューション強化

他社との共創を推進し、製造業向けAIソリューションの拡販推進

下期の主な取り組みなどによる想定効果(上期比)

売上高 ▶ **11** 億円、粗利 ▶ **9** 億円

Agenda

- 1 レスターグループ概要 P4
- 2 2026年3月期第2四半期 連結業績ハイライト P7
- 3 2026年3月期 連結業績予想及び配当予想**
 - ▶ 2026年3月期 連結業績予想及び上期進捗状況 P16
 - ▶ 2026年3月期 セグメント別の今後の取り組み P19
 - ▶ 2026年3月期 株主還元方針及び配当予想 P24

株主還元方針及び配当予想

株主還元方針

■ 2027年3月期を最終年度とする中期経営計画の期間の基本方針

- ・ 安定的な株主還元の充実、**成長領域への積極的な投資**と財務健全性のバランスを考慮
- ・ **連結株主資本配当率(DOE*)4%以上**
- ・ **安定的且つ継続的に増配の実施**
- ・ 余剰資金については機動的な自社株買い

*DOE(Dividend on Equity):株主資本配当率 = 配当額÷株主資本 = 配当利回×PBR
株主資本をベースとするため、配当性向に比べて、利益のブレに対する影響が少なく、安定的な配当となります。
当社は、株主の皆様安心して長期保有いただけるよう、DOEを重要な指標として捉えて、株主還元を行ってまいります。

2026年3月期 配当予想

第2四半期末

60 円

期末

65 円

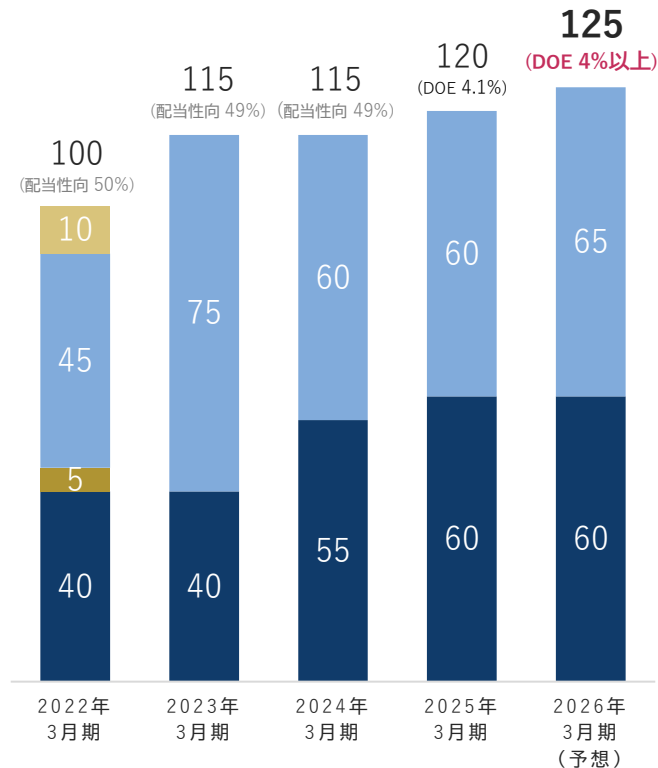
合計

125 円

1株当たり配当金

(単位:円)

■ 第2四半期 ■ 期末 ■ 記念配当・特別配当



【2026年3月期中間期決算説明会】

機関投資家及びアナリストの皆さま向けに

以下の日程にて開催を予定しております。

2025年11月14日(金)13:00-14:00

- 個人投資家の皆さま向けには、後日、当日の決算説明会の動画を弊社ホームページにて公開を予定しております
- 本件に関する機関投資家及びアナリストの皆さまからのお問い合わせ先
 - ▶ 広報・IR室：  irpr@restargp.com



エレクトロニクスに関する世界中の課題を解決する。

